



CDプレーヤ

CDX-596

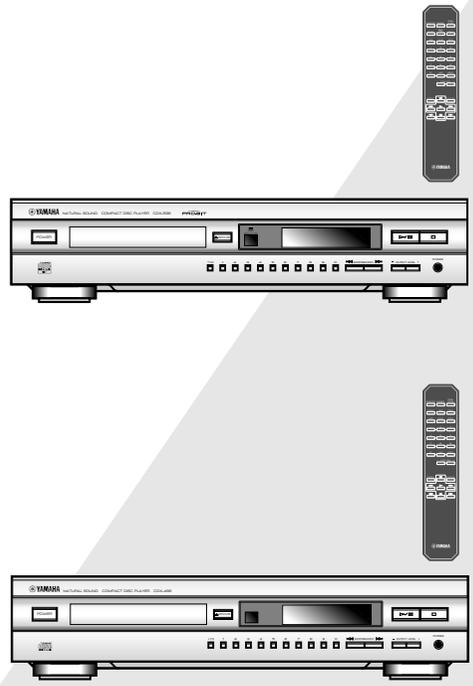
CDX-496

取扱説明書



このたびは、ヤマハコンパクトディスクプレーヤ CDX-596/496 をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。CDX-596/496 の優れた性能を十分に発揮させるとともに、永年支障なくご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前にならぬお読みくださいますようお願いいたします。お読みになったあとは、保証書とともに保管してください。

ご使用前に必ずお読みください。



目次

安全上のご注意 2

特長 6

付属品の確認 6

リモコンについて 7

接続のしかた 8

各部の名称とはたらき 10

基本的な操作 12

 一時的に演奏を止めるには 13

 演奏を停止するには 13

 本機の電源を切るには 13

 好きな曲を聞くには (ダイレクト選曲) 13

 曲の頭出しをするには (スキップサーチ) 14

 早送り、早戻しをするには (スピードサーチ) 14

 その他の機能 15

 曲を順不同に聞く (ランダム演奏) 17

 繰り返し演奏する (リピート演奏) 17

 好きな曲を好きな順序で聞く (プログラム演奏) 18

インデックス番号を指定して聞きたいところを演奏する (インデックスサーチ) 19

本機のプログラム機能を使ってテープ録音する (テーププログラム) 20

 曲順を変えることなく、自動選曲録音したいときは (オートテーププログラム) 20

 曲順を変えてテープ録音したいときは (マニュアルテーププログラム) 22

 本機に順不同に自動選曲させて録音したいときは (ランダムテーププログラム) 23

 ディスク内の最大の音をさがす (ピークレベルサーチ) 24

本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる (シンクロ録音) 25

ディスクについて 26

故障かな?と思ったら 27

参考仕様 27

ヤマハホットラインサービスネットワーク 裏表紙

安全上のご注意（安全に正しくお使いいただくために）

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。



分解禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。



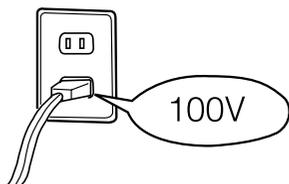
記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。



警告

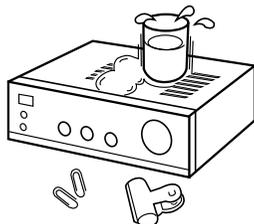
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ⊘ 電源電圧交流100V以外の電圧で使用しない



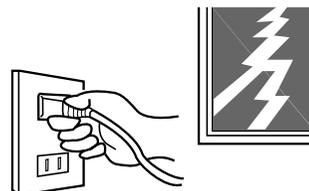
火災・感電の原因となります。
本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。

- ⊘ 水を入れたり、ぬらさない



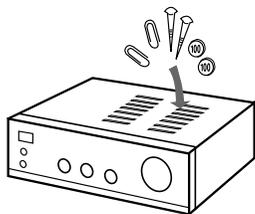
火災・感電の原因となります。
本機の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。

- ⊘ 雷が鳴っているときは、アンテナ線や電源プラグに触れない



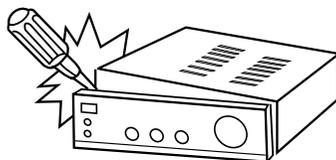
感電の原因となります。

- ⊘ 通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしない



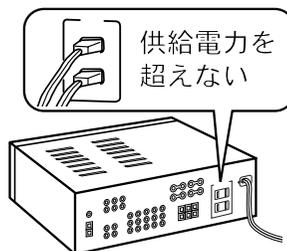
火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- ⊘ 分解・改造を絶対しない
分解禁止（キャビネットをはずすことも含む）



火災・感電の原因となります。
内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- ⊘ 供給電力を超える消費電力の機器を、電源供給コンセントに接続しない



火災の原因となります。
接続機器の消費電力の合計が本機背面に表示されている供給電力を超えないようにしてください。また、供給電力内であっても電源を入れたときに大電流の流れる機器（電熱器具、ヘアドライヤー、電子レンジなど）は接続しないでください。

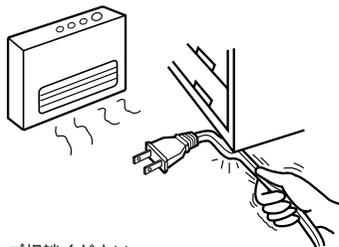


警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

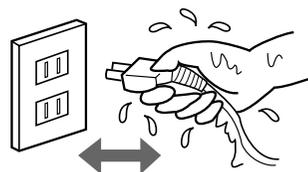
⊘ 電源コード・プラグを破損するようなことをしない

(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる・ねじる、引っばる、束ねる、重いものをのせるなどしない)



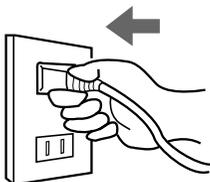
火災・感電の原因となります。
コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

⊘ 濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない



感電の原因となります。

❗ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
抜くときは必ずプラグを持ち、コードを引っばらないでください。
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

❗ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる



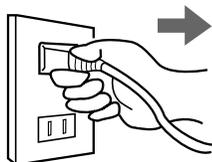
プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。
電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 機器の内部に水や異物が入った場合は、まず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く



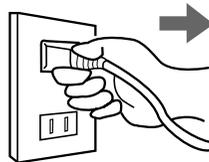
販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 煙が出たり変なおいや音がしたら、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠ 落としたりして本機を損傷した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜く



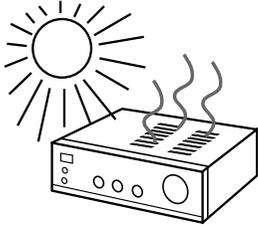
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

- ⊘ 直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に置かない



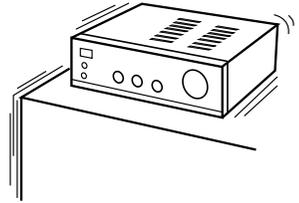
キャビネットや部品に悪い影響を与えたり、内部の温度が上昇し、火災の原因となります。

- ⊘ 湿気やほこりの多い場所に置かない



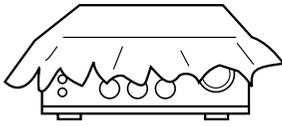
火災・感電の原因となります。

- ⊘ 振動のある場所、ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない



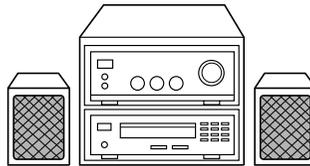
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

- ⊘ 通風孔をふさがない



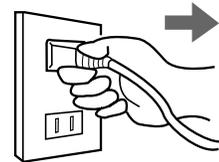
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となりますので、次の点に注意してください。
テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや、布団の上に置かないでください。
本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込まないでください。

- ⚠ 放熱をよくするために他の機器との間は少し離して置く



火災・故障の原因となります。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、左右および背面から10cm以上のすきまを開けてください。

- ⚙ 各機器を接続する場合は電源プラグを抜き、説明に従って接続する



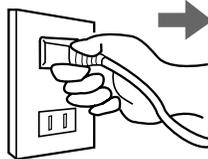
各々の機器の取扱説明書をよく読み、接続には指定のコードを使用してください。

- ⚙ 移動するときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜き、外部の接続コードを外す



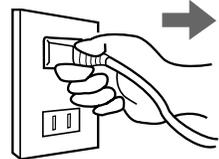
コードが傷つくと火災・感電の原因となります。

- ⚙ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く



感電の原因となります。

- ⚙ 長期間使わないときは、必ず電源プラグを抜く



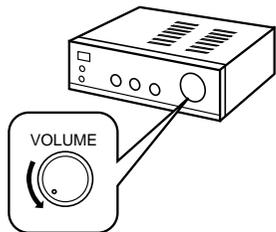
火災の原因となることがあります。



注意

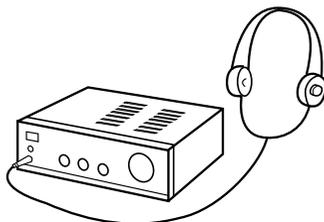
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 電源を入れる前には音量を最小にする



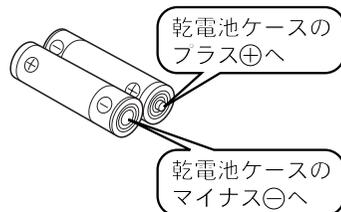
突然大きな音が出て聴力障害などの原因となります。

⊘ ヘッドホンを使うときは、音量を上げすぎない



大きな音で聞くと、聴力障害などの原因となります。

⚠ 付属のリモコンに電池を挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)通りに入れる



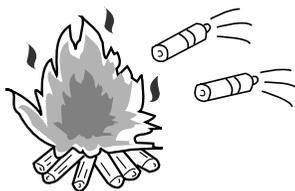
間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⊘ 指定以外の乾電池は使用しない



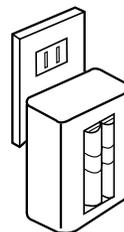
また、種類の違う乾電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。

⊘ 乾電池はショート、分解、加熱、火に入れるなどしない



発熱、液もれ、破裂などを起こし、けが、やけどの原因になります。

⊘ 乾電池は充電しない



液もれ、破損などを起こし、けが、やけどの原因になります。

⚠ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

⚠ 1年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除しないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

本機は音楽や映画などを再生する目的で設計されており、従って信号発生器やテストディスクの信号などを再生しますと、本機の故障の原因となるばかりではなく、スピーカーをいためる原因となることがあります。

デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

特長

CD-RW (ReWritable) ディスクの再生が可能

(詳しくは、26ページの『本機で再生できるディスク』を参照してください。)

テープ録音に便利なテーププログラム機能

曲間に4秒間のスペース (空き時間) を自動挿入するオートスペース機能

テープ録音時の録音レベル設定に便利なピークレベルサーチ機能

デッキとの同時録音を可能にするシンクロ録音機能

MDデッキなどでCDのデジタル録音を可能にするデジタル出力端子

CDX-596 光 / 同軸出力

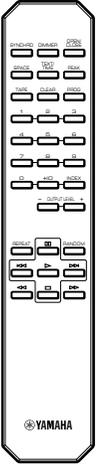
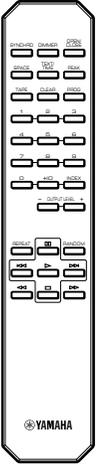
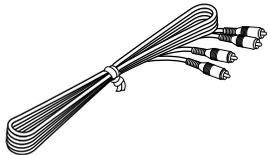
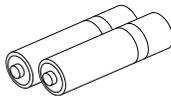
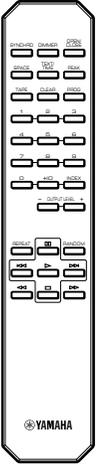
CDX-496 光出力

CD-TEXTディスクに記録された文字情報の表示が可能 **CDX-596のみ**

演奏時にディスプレイを自動的に消灯させるオートディスプレイオフ機能 **CDX-596のみ**

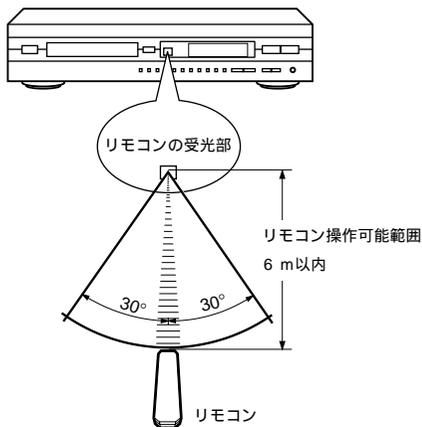
付属品の確認

ご使用の前に、付属品を確認してください。

| | | | | | |
|---|---|----------------|---|---|---|
| <p>リモコンユニット</p> <table><tr><td>CDX-596</td><td>CDX-496</td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table> | CDX-596 | CDX-496 |  |  | <p>オーディオコード</p>  <hr/> <p>単3乾電池 (2本)</p>  |
| CDX-596 | CDX-496 | | | | |
|  |  | | | | |

リモコンについて

リモコン信号は直進性の高い赤外線を使っています。リモコンと本体受光部の間に遮蔽物が入らないようご注意ください。



付属のリモコンは...

ヤマハCDプレーヤ専用です。

もし本機のリモコン操作によって誤動作をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。

ていねいに扱ってください

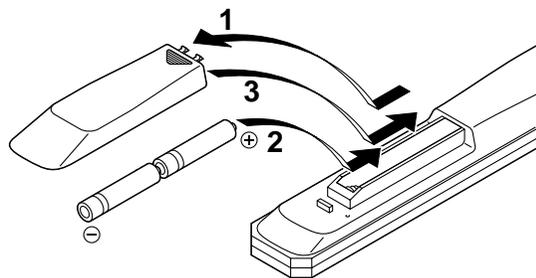
お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度や湿度の高いところにも置かないようご注意ください。

リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。

強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤動作の原因となります。

電池交換のしかた

1. リモコンの裏のふたを矢印の向きにしたがってはずします。
2. 単3型乾電池を2個、プラス⊕とマイナス⊖の向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしたらしっかりとふたを閉めます。



電池交換の時期は？

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- 単3乾電池をご使用ください。
- 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- アルカリやマンガンなど種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式の乾電池はご使用になれません。
- ショート (電池のプラス⊕とマイナス⊖を金属片で直接つなぐこと) はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。



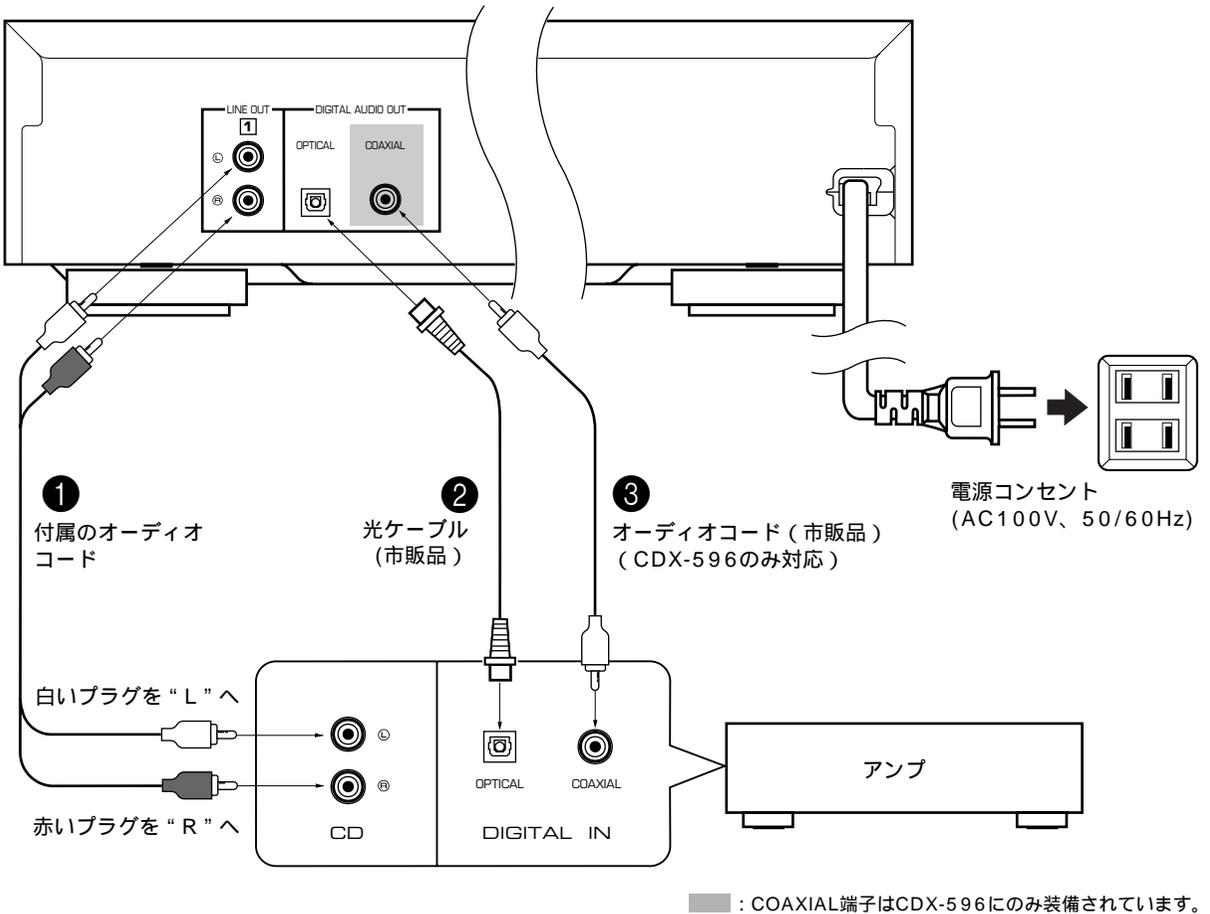
これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

接続のしかた

- 接続をはじめる前に、必ず各機器の電源を切ってください。
- 接続するアンプによっては端子名が異なるものがあります。接続するアンプの取扱説明書も参照してください。
- 本機による影響で他の機器からノイズが出る場合は、その機器と本機を離して設置してください。



電源プラグと極性表示について



すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。本機の電源コードには、極性表示がされています。(電源コードの文字ライン表示がない側が電源トランスの巻き始め側です。)コンセントの短い穴に文字ライン側を差し込んでください。極性を差し替えると音質が変わるようでしたら、好みの極性でご使用ください。

本機はアナログ（LINE OUT）、デジタル（DIGITAL AUDIO OUT）の2系統の出力端子を装備しています。接続する機器に合わせて、使用する接続端子をお選びください。

- 各端子の音声出力レベルは **- OUTPUT LEVEL +** ボタンを使って調整することができます。
- デジタル出力端子（光 / 同軸）を使用するときは、**- OUTPUT LEVEL +** ボタンを使って音声出力レベルを最大に設定してください。
- 本機のデジタル出力端子をデジタル録音機器（MDレコーダなど）のデジタル入力端子に接続すれば、CDのデジタル音声をデジタルのまま録音することができます。

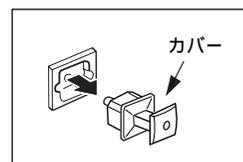
アナログ出力端子に接続する場合 （①）

本機のLINE OUT端子を、付属のピンプラグコードを使ってアンプのCD（アナログ）入力端子に接続します。

- * 接続は、右チャンネル（R）、左チャンネル（L）を確認したのち、正しくおこなってください。

デジタル出力端子（OPTICAL）に接続する場合（②）

本機のDIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（光出力）端子のカバーを取り外し、市販の光ケーブルを使用してアンプの光入力端子へ接続します。



- * 本機のDIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（光出力）端子はEIAJ規格にもとづき設計されています。EIAJ規格を満たさない光ケーブルを使用しますと、正常に動作しないことがあります。
- * 本機のDIGITAL AUDIO OUT OPTICAL（光出力）端子を使用しない場合は、ほこり等の侵入を防ぐため、常にカバーをはめたままの状態にしておいてください。

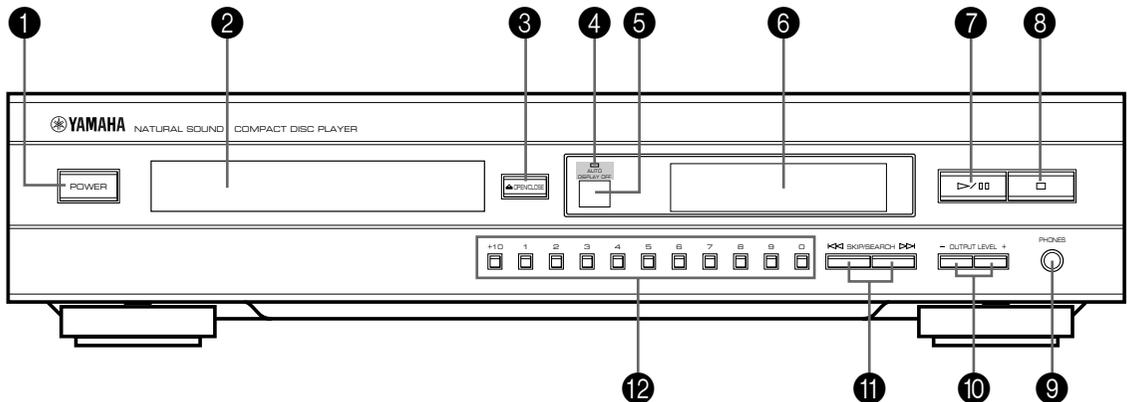
デジタル出力端子（COAXIAL）に接続する場合（③）**CDX-596のみ**

本機のDIGITAL AUDIO OUT COAXIAL（同軸）端子と、アンプのCD（デジタル同軸）入力端子を、市販のピンプラグコード（1P）または付属のピンプラグコードの片側を使って接続します。

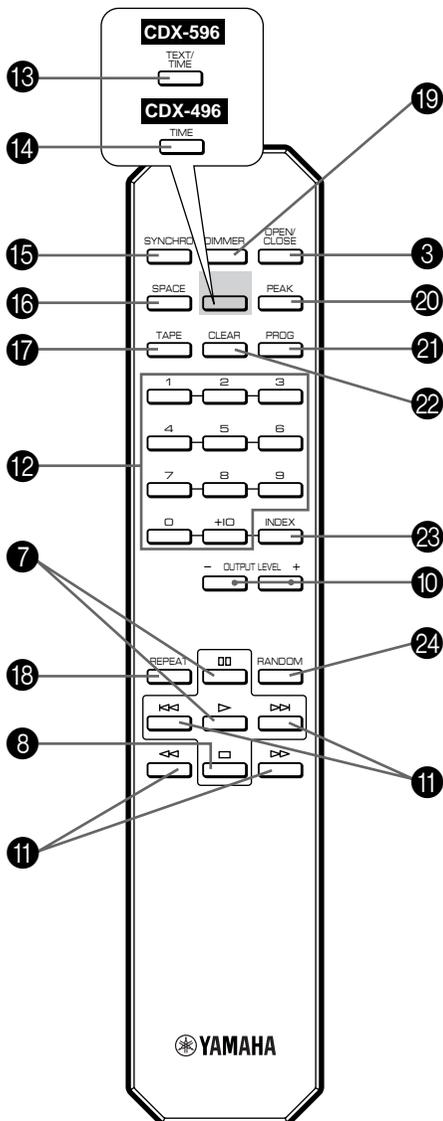
- * COAXIAL/OPTICAL端子の双方に接続する必要はありません。どちらか一方の接続だけで使用することができます。

各部の名称とはたらき

フロントパネル



リモコン



■ : 4、13はCDX-596のみ、14はCDX-496のみの装備です。

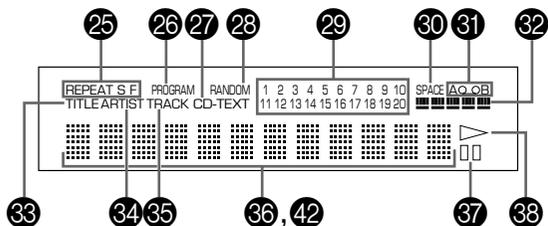
- ① **POWER**
押すと電源が入り、もう一度押すと切れます。
- ② **ディスクトレイ**
ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSE (△) を押すと開き、もう一度押すと閉じます。ディスクトレイは手で軽く押ししても、▷/⏏ や、RANDOM または数字キーを押しても閉じることができます。
- ③ **OPEN/CLOSE (△)**
トレイを開閉するときに押します。
- ④ **AUTO DISPLAY OFF** インジケータ
CDX-596のみ
オートディスプレイオフ機能を働かせている場合は、演奏中に点灯します。
- ⑤ **リモコン受光部**
付属のリモコンからの信号を受ける窓です。
- ⑥ **ディスプレイ**
11ページを参照してください。
- ⑦ **▷/⏏ (スタート/一時停止)**
演奏をスタート/一時停止 (ポーズ) させるキーです。また、リモコンでは ▷ と ⏏ の2つに独立しています。
- ⑧ **□ (停止)**
演奏を止めるときに押します。
- ⑨ **PHONES** ジャック
ヘッドホン差し込みます。
- ⑩ **- OUTPUT LEVEL +**
+ (プラス) を押すと本機背面の出力端子からの音声出力レベルとヘッドホンの音量が大きくなり、- (マイナス) を押すと小さくなります。
- ⑪ **⏮ SKIP/SEARCH ⏭**
(⏮ / ⏭、⏪ / ⏩)
押すごとに曲の頭出し (SKIP) ができ、押し続けると早送り、早戻し (SEARCH) ができます。プログラムのチェックなどにも使います。また、リモコンでは⏮ / ⏭ (SKIP) と⏪ / ⏩ (SEARCH) の2つに独立しています。
- ⑫ **数字キー (1~0、+10)**
選曲やプログラムの設定時に曲番を指定するキーです。

- 13 TEXT/TIME** **CDX-596のみ**
 押すごとに時間表示を切り替えます。また、CD-TEXTディスクの場合は、タイトルテキスト、アーティストテキスト、トラックテキストも表示します。
- 14 TIME** **CDX-496のみ**
 押すごとに時間表示を切り替えます。
- 15 SYNCHRO**
 カセットデッキとシンクロ録音するときに使います。
- 16 SPACE**
 曲間に4秒間のスペース (空き時間) を入れます。
- 17 TAPE**
 テーププログラムの設定時に使います。
- 18 REPEAT**
 押すごとにシングルリピート演奏、フルリピート演奏、通常演奏と切り替わります。

- 19 DIMMER**
 押すごとにディスプレイの明るさを切り替えます。
- 20 PEAK**
 ディスク内の最大音量箇所をさがすときに使います。
- 21 PROG**
 プログラムの設定をするときや確認するときなどに使います。
- 22 CLEAR**
 プログラムを解除するときに使います。
- 23 INDEX**
 インデックスサーチをするときに使います。
- 24 RANDOM**
 押すと順不同に曲を演奏します。

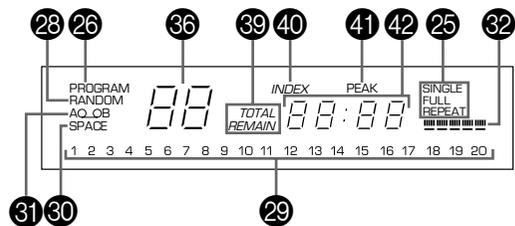
ディスプレイ

CDX-596



- 25 SINGLE REPEAT/FULL REPEAT** インジケータ
 リピート演奏の種類が一曲 (SINGLE) リピートか全曲 (FULL) リピートかを表示します。
- 26 PROGRAM** インジケータ
 プログラムの設定時やプログラム演奏中に点灯します。
- 27 CD-TEXT** インジケータ **CDX-596のみ**
 CD-TEXTディスクをセットすると点灯します。
- 28 RANDOM** インジケータ
 ランダム演奏中に点灯します。
- 29 ミュージックカレンダー**
 通常演奏時はディスクに収録されている曲番が点灯し、プログラム設定時および演奏時は、プログラムされた曲番のみが点灯します。演奏を終えた曲番は順次消灯してゆきます。
- 30 SPACE** インジケータ
 曲間に4秒間のスペース (空き時間) を入れるとき点灯します。
- 31 テープインジケータ**
 テーププログラムを使って録音するときにこのインジケータを点灯させます。
- 32 アウトプットレベルインジケータ**
 出力端子の音声出力レベル、およびヘッドホンの音量レベルを表示します。
- 33 タイトルテキストインジケータ** **CDX-596のみ**
 CD-TEXTディスクに記録されたタイトルテキストの情報を表示中に点灯します。

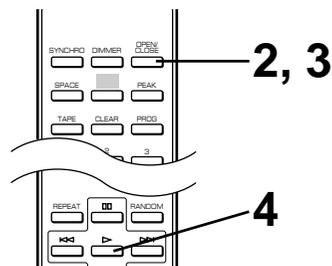
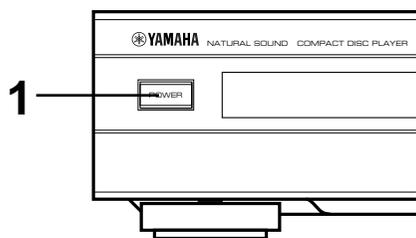
CDX-496



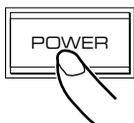
- 34 アーティストテキストインジケータ** **CDX-596のみ**
 CD-TEXTディスクに記録されたアーティストテキストの情報を表示中に点灯します。
- 35 トラックテキストインジケータ** **CDX-596のみ**
 CD-TEXTディスクに記録されたトラックテキストの情報を表示中に点灯します。
- 36 トラック (曲番) インジケータ**
 演奏時やプログラム設定時に曲番を表示します。ディスクをセットして **OPEN/CLOSE** を押してディスクトレイを閉じると、数秒間そのディスクに収録されている総曲数を表示します。また、その他の情報表示にも使用されます。
- 37 〇〇 (一時停止表示)** **CDX-596のみ**
 一時停止中に点灯します。
- 38 ▷ (演奏表示)** **CDX-596のみ**
 演奏中に点灯します。
- 39 TOTAL/REMAIN** インジケータ **CDX-496のみ**
TIME を押すごとに時間表示の内容が変わります。
- 40 INDEX** インジケータ **CDX-496のみ**
INDEX を押すと点灯します。
- 41 PEAK** インジケータ **CDX-496のみ**
PEAK を押すと点灯します。
- 42 タイムインジケータ**
 演奏時間やその他の情報を表示します。

本書はリモコンによる操作を中心に説明しています。
 本体のフロントパネル上で操作する場合は対応するキーをご使用ください。

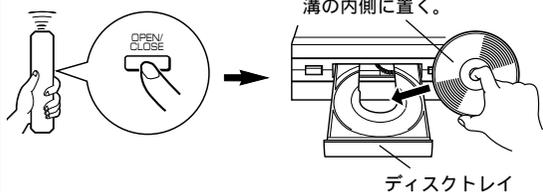
基本的な操作



1 POWER を押し、電源を入れます。

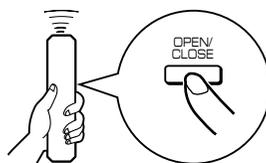


2 OPEN/CLOSE を押してトレイを開け、ディスクをセットします。

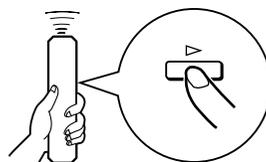


レーベル面を上にして、溝の内側に置く。
 ディスクトレイ
 * 8cm CDはディスクトレイの内側の溝に合わせてセットします。

3 OPEN/CLOSE を押すと、ディスクトレイが閉まります。



4 ▷ (または ▷/00) を押すと、ディスクの最初の曲から演奏がはじまります。

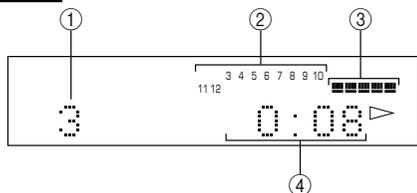


注意!

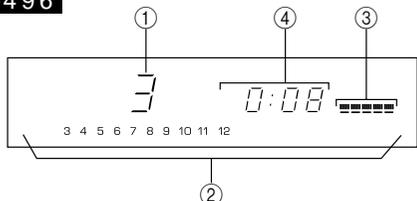
CDは従来のアナログやテープ再生時のような演奏前のノイズがほとんどありません。演奏スタートと同時に大音量となることがありますので、アンプのボリュームの位置にご注意ください。

演奏中の表示について

CDX-596



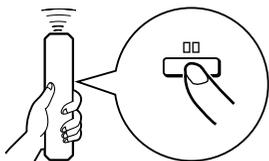
CDX-496



- ① 演奏中の曲番を表示します。
- ② CDに収録されている曲番を表示します。
 * 収録曲数が20をこえるCDの場合は、21曲目以降は表示されません。
 * 演奏が終わった曲番は消灯しますので、残りの曲番と曲数がひと目で確認できます。
- ③ 出力端子の音声出力レベルおよびヘッドホンの音量レベルを表示します。
- ④ 演奏経過時間を表示します。
 (詳しくは、15ページの『演奏時間表示の切り替え』を参照してください。)

一時的に演奏を止めるには

00 を押します。

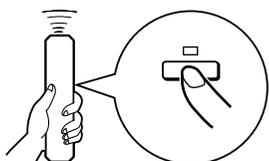


押したところで一時停止（ポーズ）になります。再び演奏をはじめるとは ▷（または 00）を押します。

- * 本体の ▷/00 でも同じ操作ができます。
- * 一時停止中は演奏時間表示の「：」が点滅します。

演奏を停止するには

□ を押します。



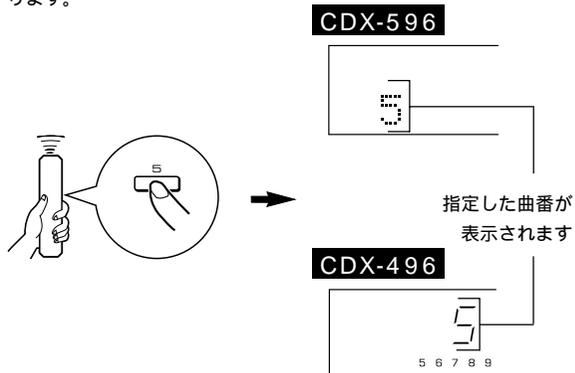
本機の電源を切るには

もう一度 **POWER** を押します。

- * ディスクトレイにディスクがセットされたまま電源を切ると、次に電源を入れたとき、ディスクの最初の曲から演奏がはじまりません。

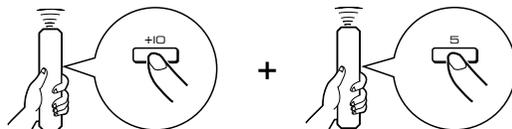
好きな曲を聞くには（ダイレクト選曲）

数字キーで曲番を指定します。指定した曲の演奏が自動的にはじまります。



曲番10以上を指定するには +10 を押して10の位を決め、次に1の位を 1-0 ボタンで指定します。

（例）曲番25
+10 を2回押して、すぐ 5 を1回押す。

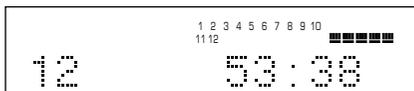


- * ディスクに収録されている曲番より大きな曲番を指定すると、最後の曲を演奏します。

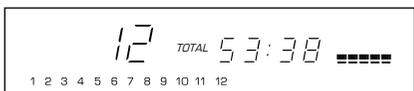
総演奏時間の表示について

- **OPEN/CLOSE** を押してトレイを閉じたとき、ディスクの総曲数と総演奏時間を数秒間表示します。

CDX-596



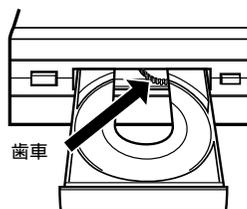
CDX-496



- ▷ (▷/00)、数字キー、**RANDOM** を押したとき、またはディスクトレイを手で押して閉じたときは演奏が自動的にはじまり、総曲数、総演奏時間は表示しません。
- **CDX-596のみ**
CD-TEXTディスクをセットした場合は、総曲数、総演奏時間のあとにタイトルテキストが表示されます。

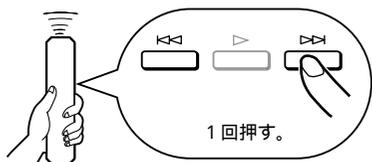
注意!

ディスクトレイが開いているときは、内部の歯車には絶対に触れないでください。もし歯車に触れますと、トレイが閉り、指を挟まれてけがの原因となることがあります。

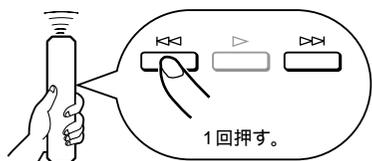


曲の頭出しをするには (スキップサーチ)

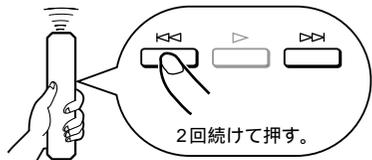
今、演奏している曲よりひとつ後の曲を聞くには



今、演奏している曲の頭から聞くには



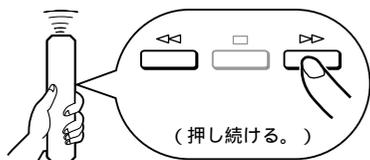
今、演奏している曲よりひとつ前の曲を聞くには



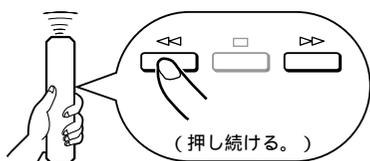
- 曲の頭出しはポーズ中や停止中にもできます。
- リモコンキー (◀◀ または ▶▶) を使用する場合：
押し続けると曲番が順に上がって (または下がって) いきます。
- 本体キー (◀◀ **SKIP/SEARCH** ▶▶) を使用する場合：
押し続けると早送りや早戻し (SEARCH) になりますので、注意してください。

早送り、早戻しをするには (スピードサーチ)

早送り



早戻し



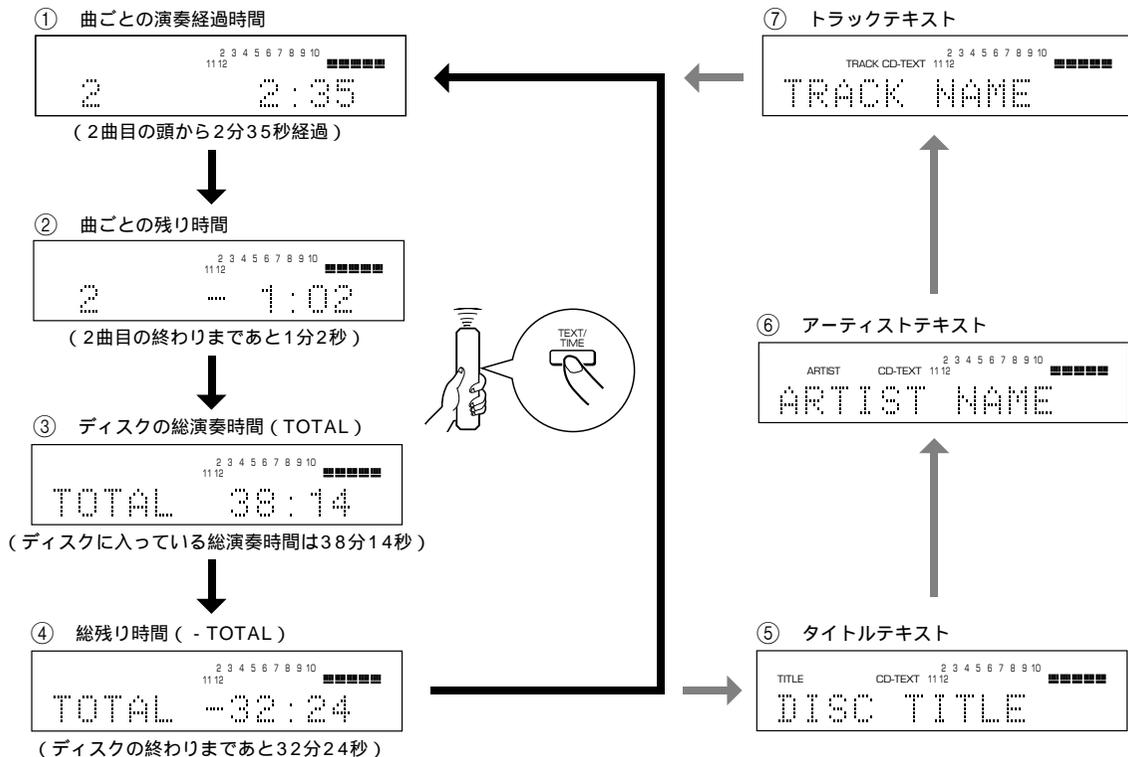
- 演奏中や一時停止中に、ディスクの内容を早送りまたは早戻ししながら聞きたいところをさがすことができます。
- 演奏中に操作すると音が小さく聞こえます。一時停止中に操作すると音は聞こえません。
- 本体キー (◀◀ **SKIP/SEARCH** ▶▶) を使用する場合：
押してすぐキーから手を離すと次の曲の頭、または演奏中の曲の頭までスキップ (SKIP) してしまいますので、注意してください。

その他の機能

演奏時間表示の切り替え

CDX-596

TEXT/TIME を押すごとに①～④のように切り替わります。CD-TEXTディスクの場合は、タイトルテキスト (⑤)、アーティストテキスト (⑥)、トラックテキスト (⑦) も表示されます。

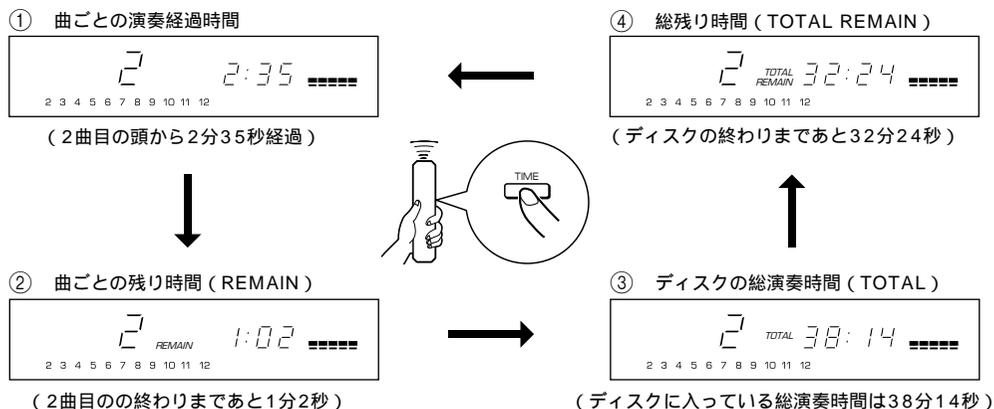


メモ

- CD-TEXTディスクにタイトルテキスト、アーティストテキスト、トラックテキストが記録されていない場合は、“(NO ENTRY)”と表示されます。
- 演奏中のディスクがCD-TEXTディスクの場合、①～④のディスプレイ表示にも“CD-TEXT”が点灯します。

CDX-496

TIME を押すごとに次のように切り替わります。



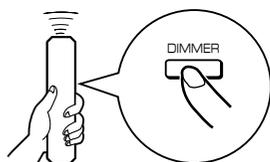
ディスプレイの明るさの切り替え

CDX-596

DIMMER を押すごとにディスプレイの明るさを切り替えたり、ディスプレイを消灯させることができます。

演奏中

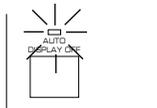
普通の明るさ
↓
薄暗い明るさ
↓
消灯*



一時停止 / 停止中

普通の明るさ
↓
薄暗い明るさ
↓
薄暗い明るさ*

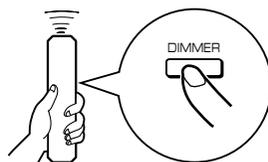
* ディスプレイは演奏中だけ消灯し、それ以外は薄暗い明るさで表示します。ディスプレイが消えている間は **AUTO DISPLAY OFF** インジケータが点灯します。



* **AUTO DISPLAY OFF** インジケータが点灯します。この状態で演奏を開始するとディスプレイが消灯します。

CDX-496

DIMMER を押すごとにディスプレイの明るさを3段階に切り替えることができます。



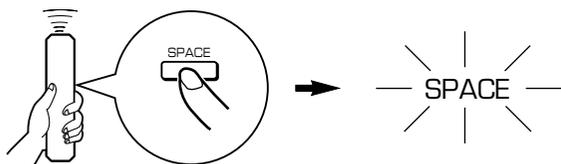
普通の明るさ
↓
やや薄暗い明るさ
↓
薄暗い明るさ

オートスペースについて

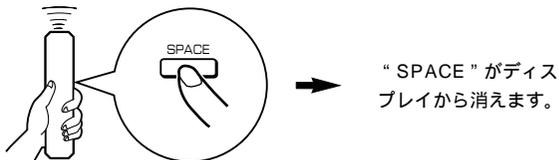
曲間が十分でないディスクの場合、そのままテープに録音してもテープ演奏時にうまく選曲できないことがあります。そのような場合、録音開始前に **SPACE** を押して“SPACE”をディスプレイに点灯させておくと、各曲間に約4秒間のスペース(空き時間)が挿入され、デッキ側の選曲ミスを防ぐことができます。

注意!

ディスクの総演奏時間および総残り時間の表示はスペース(空き時間)を加えた時間表示に変わります。

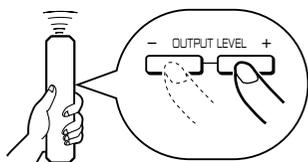


オートスペースの解除
SPACE を押します。



アンプへの音声出力レベルの調整およびヘッドホンの音量調整

- **OUTPUT LEVEL +** でアンプへの音声出力レベルを調整します。



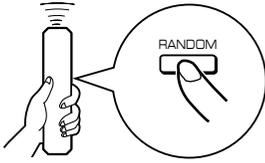
ヘッドホンで聴く場合は、ヘッドホンのプラグを **PHONES** ジャックに接続し、
- **OUTPUT LEVEL +** で音量を調整します。このとき、本機背面の出力端子からアンプへの音声出力レベルも変わりますのでご注意ください。



曲を順不同に聞く (ランダム演奏)

ディスク内の曲をマイクロコンピュータで順不同に選択して聞くことができます。

ランダム演奏を開始するには
RANDOM を押します。



ランダム演奏の解除

□ または **RANDOM** を押します。また **OPEN/CLOSE** を押してトレイを開けると解除されます。



注意!

- ランダム演奏はプログラムを設定しているときや、プログラム演奏中はできません。
- ランダム演奏中は、ディスクの総残り時間は表示されません。

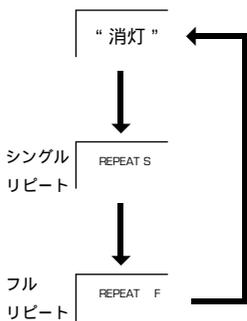
メモ

- ランダム演奏中に **▷▷ (SKIP/SEARCH ▷▷)** を押すと次に演奏される曲に移ります。 **◁◁ (◁◁ SKIP/SEARCH)** を押すと演奏している曲の頭に戻ります。
-  選曲中はトラックインジケータの表示が回転します。
- ランダム演奏中に本機の電源を切り、その後再び電源を入れると、ランダム演奏が自動的にはじまります。

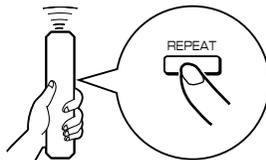
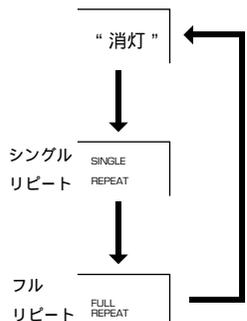
繰り返し演奏する (リピート演奏)

REPEAT を押します。 **REPEAT** を押すごとにリピート演奏モードが切り替わります。

CDX-596



CDX-496



シングルリピート (S、SINGLE)

指定した1曲、または演奏中の曲を繰り返し演奏します。

- * プログラム演奏中またはランダム演奏中でもリピート演奏ができます。
- * シングルリピート演奏は、本機の電源が切れると自動的に解除されます。

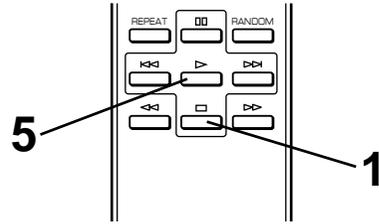
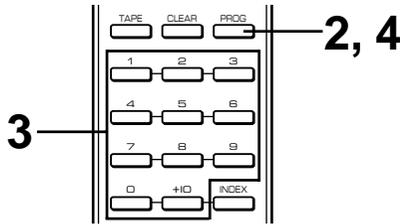
フルリピート (F、FULL)

ディスクまたはプログラムをした曲の全曲を繰り返し演奏します。

- * プログラム演奏中はプログラムされたすべての曲が繰り返し演奏されます。
- * ランダム演奏中は順不同で選曲された曲が同じ順序で繰り返し演奏されます。
- * フルリピート演奏中に本機の電源を切り、その後再び電源を入れると、フルリピート演奏が自動的にはじまります。

好きな曲を好きな順序で聞く（プログラム演奏）

最大40曲までプログラムできます。



1 □ を押して停止状態にします。

2 PROG を押します。

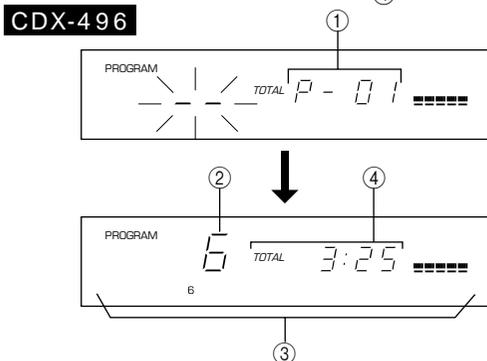
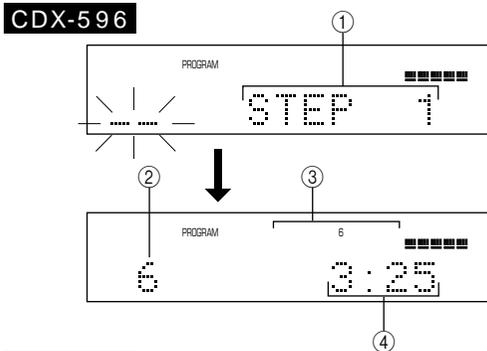
3 プログラムする曲を数字キーで選びます。

* この手順を繰り返して好きな曲をプログラムしてください。同じ曲を2度以上プログラムすることもできます。

4 プログラムが完了したら、PROG を押します。

5 ▷ を押すとプログラム演奏が始まります。

プログラムしているときの表示について



- ① 何番目にプログラムされるかを表示します。
- ② プログラムした曲番を表示します。
- ③ プログラムされたすべての曲番を表示します。
- ④ 今までプログラムした曲の総演奏時間を表示します。
* 総演奏時間が100分を超えると下2ケタの数字しか表示されません。

メモ

- プログラム設定中に **TEXT/TIME (TIME)** を押すと、プログラムの総演奏時間を表示します。元のディスプレイ表示に戻るには、もう一度 **TEXT/TIME (TIME)** を押します。
- プログラムした曲の飛び越し選曲するには **◀◀** または **▶▶** (**◀◀ SKIP/SEARCH ▶▶**) を押します。プログラムした曲の中だけで飛び越し選曲し、プログラムしていない曲には移りません。
- 早送り、早戻しについて **◀◀** または **▶▶** (**◀◀ SKIP/SEARCH ▶▶**) を押し続けるとプログラムしていない曲にも移ります。

プログラム演奏をやめるには

□ を押します。ディスプレイには最初にプログラムした曲番が表示されます。
演奏を再びはじめるには ▷ を押します。プログラムの最初から演奏がはじまります。

プログラムを解除するには

以下のような方法があります。

- 停止状態のときに **CLEAR** または □ を押す。
- ディスクトレイを開ける。
- 本機の電源を切る。

プログラムを確認するには

1. プログラム演奏中の場合は、□ を押して停止状態にします。
2. **PROG** を押します。
3. ▷▷ または ◀◀ (◀◀ **SKIP/SEARCH** ▷▷) を押すごとにプログラムした曲が順次表示され、プログラムを確認できます。

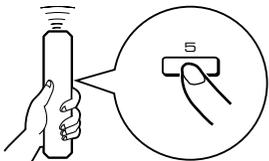
プログラムを訂正するには

1. 『プログラムを確認するには』の手順に従ってください。
2. ▷▷ または ◀◀ (◀◀ **SKIP/SEARCH** ▷▷) を押して訂正したい曲番を表示させます。
3. 数字キーで新しい曲番を入力すると、訂正前の曲番は消え、新しい曲番が表示されます。
4. **PROG** を押します。プログラムの訂正が完了しました。訂正後すぐに演奏をはじめるときは、**PROG** の代わりに ▷ を押します。

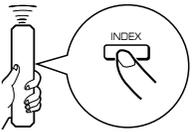
インデックス番号を指定して聞きたいところを演奏する (インデックスサーチ)

インデックス番号が記録されたディスクでは、インデックス番号を指定してそこから演奏をはじめることができます。

1 数字キーで曲を選びます。



2 **INDEX** を押します。



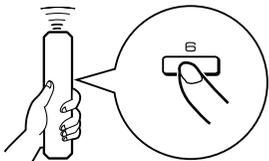
CDX-596



CDX-496



3 数字キーでインデックス番号を指定します。



インデックスについて

1つの曲をさらに小さな部分に区切り、番号付けたものがインデックスです。インデックスが記録されているディスクには、解説書に **INDEX** マークがついています。

- ディスクに記録されているインデックス番号より大きな番号を指定すると、最後のインデックスから演奏がはじまります。
- ディスクによってはインデックス番号の少し手前から演奏がはじまる場合があります。
- インデックスが記録されていないディスクでインデックス番号を指定すると、選ばれている曲の頭から演奏がはじまります。
- インデックス番号は、“INDEX” がディスプレイに点灯しているときのみ指定できます。

インデックスサーチを解除するには

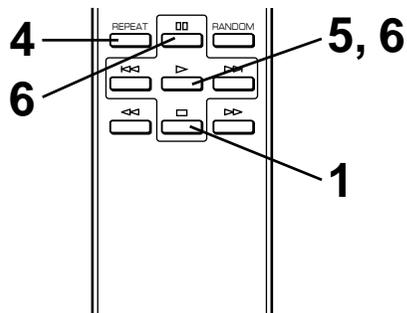
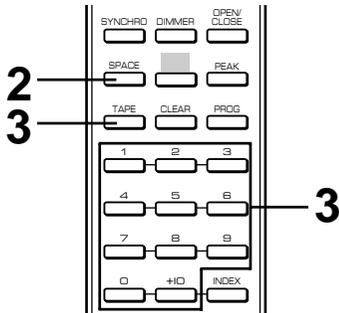
もう一度 **INDEX** を押します。“INDEX” がディスプレイから消えます。

本機のプログラム機能を使ってテープ録音する (テーププログラム)

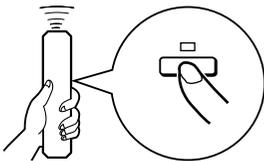
ディスクをテープに録音するときに便利なプログラム機能です。

テープの長さを本機にメモリーさせることにより、テープの余り時間を最小限に抑えてプログラムすることができます。

■ 曲順を変えることなく、自動選曲録音したいときは (オートテーププログラム)



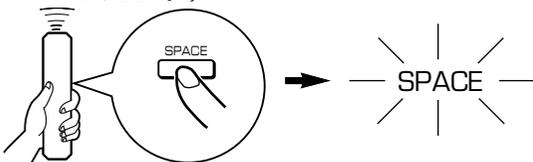
1 □ を押して停止状態にします。



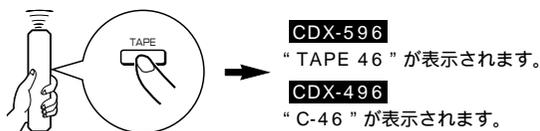
* デッキ側で録音レベルの設定をする際、本機のピークレベルサーチ機能を利用すると便利です。(24ページの『ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)』を参照してください。)

2 必要であれば **SPACE** を押し、ディスプレイに“SPACE”を点灯させます。

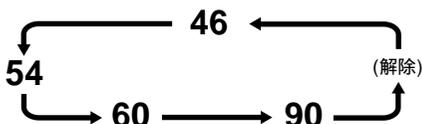
各曲間に約4秒間のスペースが挿入されます。
(詳しくは、16ページ『オートスペースについて』を参照してください。)



3 **TAPE** を押します。

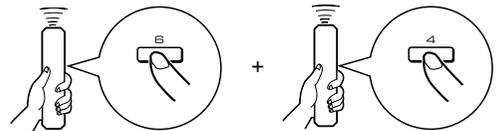


TAPE を押すごとに、テープの長さ(テープの時間)の表示が次のように変わります。使用するテープの長さと同じものを選んでください。



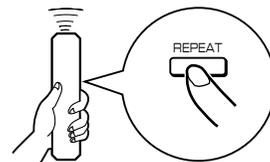
使用するテープの長さが表示されない場合は、数字キーでテープの長さを入力します。

(例) C-64のカセットテープ(片面32分)の場合
“6”、“4”と続けて押します。



* 最大99分まで設定できます。

4 **REPEAT** を押します。



本機がディスクの曲順を変えずにテープの長さに合わせてA面、B面にプログラム(最大40曲まで)します。

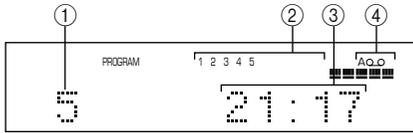
5 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、すぐに本機の **▷** を押します。
オートテーププログラム演奏がスタートします。

6 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止(ポーズ)状態になります。デッキを操作してテープB面に録音できるようにして、すぐに本機の **▷** または **□** を押します。
残りのプログラム演奏がスタートし、テープB面に録音が始まります。

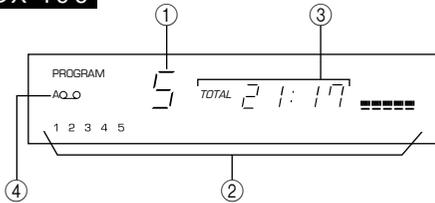
メモ

- 手順 4 で **REPEAT** を押すと、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。

CDX-596



CDX-496



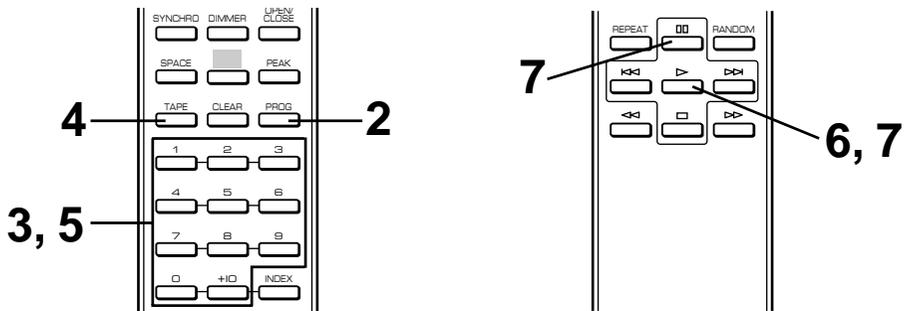
- ① プログラムされた総曲数をA面、B面ごとに続けて表示したあと、A面にプログラムされた最初の曲番を表示します。
- ② プログラムされたすべての曲番をA面、B面ごとに続けて表示します。
- ③ プログラムされた曲の総演奏時間をA面、B面ごとに続けて表示します。
- ④ A面またはB面を表します。

- テーププログラムの確認、訂正、解除は19ページを参照してください。
 - * テーププログラムを確認しているときにA面、B面の間に“PAUSE”または“Pu”の表示がでます。
- 最大40曲までプログラムすることができます。ただし、A面からB面への切り替え時に挿入される一時停止状態（ポーズ）も1プログラムとして数えられます。
- 使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順 5 と 6 にてシンクロ録音が可能です。（25ページの『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる（シンクロ録音）』を参照してください。）

注意!

- 使用するテープの時間がディスクの総演奏時間に対して余裕が少ないときは、録音できない曲がでることがあります。全曲を録音するためには、十分な時間のテープを使用してください。

■ 曲順を変えてテープ録音したいときは (マニュアルテーププログラム)

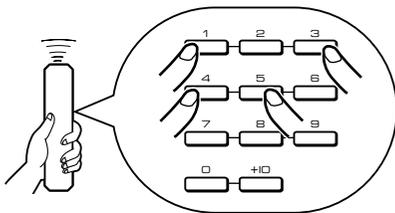


1 20ページの『オートテーププログラム』の手順 1、2、3と同じ操作をします。

2 PROG を押します。点滅します。

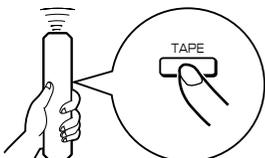
 点滅します。
 点滅します。

3 テープA面に録音したい曲を好きな順に数字キーで選びます。

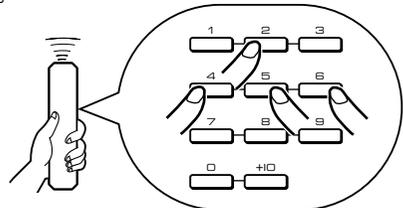


* 選ばれた曲番がディスプレイに点灯します。表示されているA面の残り時間内に録音する曲をディスプレイに点滅している曲番の中から選ぶことができます。ただし、すでに消灯した曲番は選ぶことができません。

4 TAPE を押します。
 一時停止 (ポーズ) 状態が挿入され、テープB面に切り替わります。



5 テープB面に録音したい曲を好きな順に数字キーで選びます。



6 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、すぐに本機の▷を押します。
 テーププログラム演奏がスタートします。

7 テープA面に録音する曲の演奏が終了すると本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止 (ポーズ) 状態になります。デッキを操作してテープB面に録音ができるようにして、すぐに本機の▷または00を押します。残りのプログラム演奏がスタートし、テープB面に録音が開始されます。

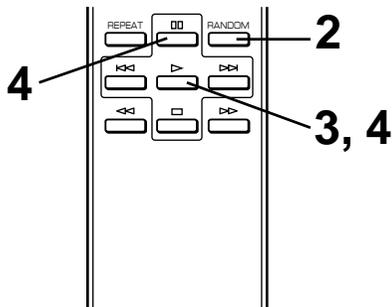
注意!

- テープ片面の残り時間を超える曲番を入力すると“ERROR”または“Err”(エラー)表示をして受け付けません。ただし、この時点で点滅している曲番があれば、その曲をプログラムすることができます。

メモ

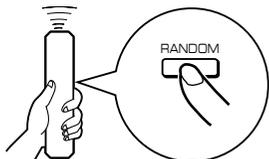
- 手順 3 と 5 にて、選曲することによってその曲番とテープの残り時間が表示され、次のプログラムの入力待ちの表示に変わります。
- テーププログラムの確認、訂正、解除は19ページを参照してください。
 - * テーププログラムを確認しているときにA面、B面の間に“PAUSE”または“Pu”の表示がでます。
- 最大40曲までプログラムすることができます。ただし、一時停止状態 (ポーズ) の挿入も1プログラムとして数えられます。
- 使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順 6 と 7 にてシンクロ録音が可能です。(25ページの『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる (シンクロ録音)』を参照してください。)

■ 本機に順不同に自動選曲させて録音したいときは（ランダムテーププログラム）



1 20ページの『オートテーププログラム』の手順 1、2、3と同じ操作をします。

2 **RANDOM** を押します。



* 本機がテープの長さに合わせて順不同に選曲し、A面、B面それぞれにプログラムをおこないます。

3 デッキを操作してテープA面の録音をはじめ、同時に本機の **▷** を押します。

4 テープのA面に録音する曲の演奏が終了すると本機はB面演奏の曲番表示に変わり、一時停止（ポーズ）状態になります。デッキを操作してテープB面に録音できるようにして、すぐに本機の **▷** または **⏏** を押します。残りのプログラム演奏がスタートし、テープB面に録音を開始されます。

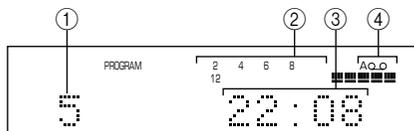
注意!

- ランダムテーププログラムでは、使用するテープの長さがディスクの総演奏時間に対して余裕の少ないときは、ランダムの組み合わせにより収録できない曲がでることがあります。そのときは、**TAPE** と **RANDOM** を何度か押して、全曲が収録される組み合わせにしてから録音をはじめてください。また、テープの長さを変更するときは、**TAPE** を押してください。

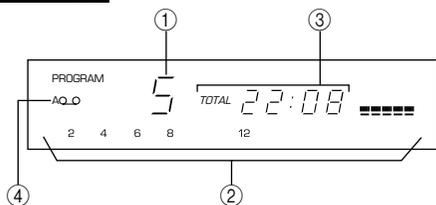
メモ

- 手順 **2** において、**RANDOM** を押したのち、A面、B面それぞれのプログラム結果がディスプレイに表示されます。

CDX-596



CDX-496



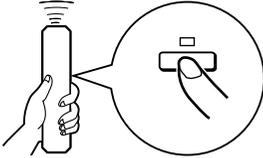
- プログラムされた総曲数をA面、B面ごとに続けて表示したあと、A面にプログラムされた最初の曲番を表示します。
- プログラムされたすべての曲番をA面、B面ごとに続けて表示します。
- プログラムされた曲の総演奏時間をA面、B面ごとに続けて表示します。
- A面またはB面を表します。

- 最大40曲までプログラムすることができます。ただし、A面からB面への切り替え時に挿入される一時停止状態（ポーズ）も1プログラムとして数えられます。
- 使用するデッキがシンクロ録音対応デッキの場合は、手順 **3** と **4** にてシンクロ録音が可能です。（25ページの『本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる（シンクロ録音）』を参照してください。）

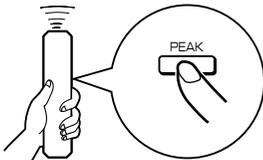
ディスク内の最大の音をさがす（ピークレベルサーチ）

ディスク内の最も音量レベルが大きいところを自動的に探し出し、繰り返し演奏します。
この機能はテープに録音する際、デッキの録音レベルを調整するときに役立ちます。

1 □ を押して停止状態にします。



2 PEAK を押します。



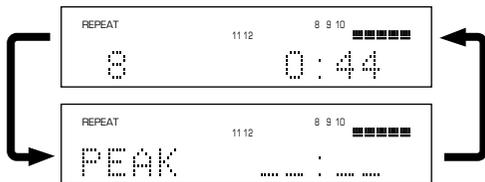
ディスプレイに“PEAK”が点灯し、ピークレベルサーチが始まります。

（サーチは、約2～3分間おこなわれます。）

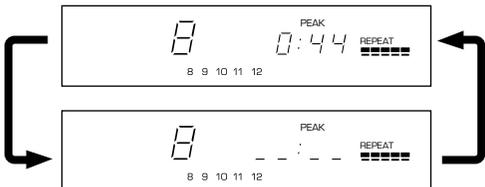


サーチ終了後、その部分を繰り返し（リピート）演奏します。この演奏をもとに、デッキ側で録音レベルを調整してください。

CDX-596



CDX-496



ピークレベルサーチを解除するには
□ を押します。

注意!

- 同じディスクでピークレベルサーチを2回以上おこなった場合、同じ部分が選ばれないことがあります。これは内蔵のマイクロコンピュータが、その都度ランダムに何ヶ所かのポイントを選び出し、その中で音量レベルの比較をおこなうためです。

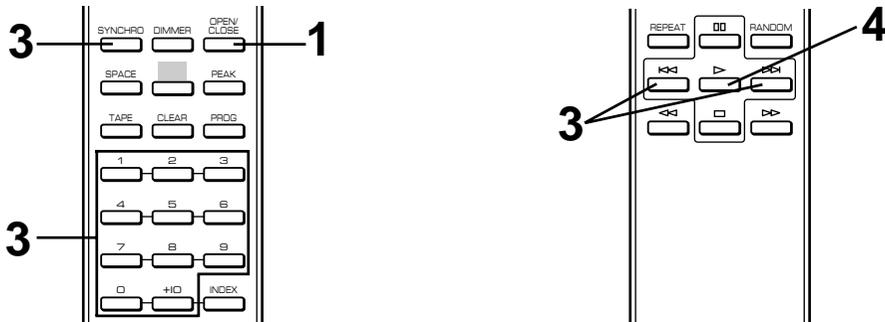
メモ

- ピークレベルサーチはプログラムが設定された状態でも可能です。選曲後に **PEAK** を押すと、プログラムされた曲の範囲内でサーチがおこなわれます。

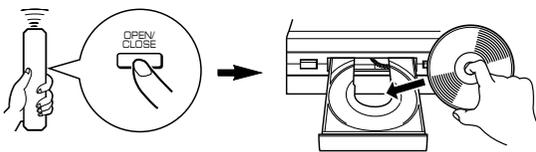
本機の演奏に連動させてテープ録音をスタートさせる (シンクロ録音)

シンクロ録音機能を使うと、テープ録音が簡単かつ正確におこなえます。

- シンクロ録音には、シンクロ録音対応のヤマハテープデッキが必要です。(使用するデッキがシンクロ録音対応かどうかは、デッキの取扱説明書を参照してください。)
- シンクロ録音では、本機に付属のリモコンからの信号を、本機とデッキが同時に受信する必要があります。そのため本機とデッキは必ず近づけて設置してください。



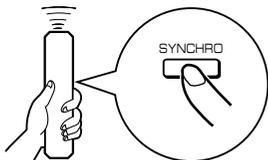
1 OPEN/CLOSE を押してトレイを開け、ディスクをセットします。



2 デッキにテープをセットします。

- 本機のピークレベルサーチ機能は、デッキの録音レベルを調整するのに便利です。(24ページの『ディスク内の最大の音をさがす(ピークレベルサーチ)』を参照してください。)

3 SYNCHRO を押します。

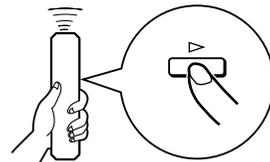


本機が一時停止 (PAUSE) 状態になり、デッキはREC/PAUSE状態になります。ディスプレイの演奏時間表示が点滅します。

必要であれば、あらかじめ希望する曲を数字キーまたは◀◀/▶▶ (◀◀ SKIP/SEARCH ▶▶) を押して選曲しておきます。



4 ▶ を押します。



ディスクの演奏とテープ録音が始まります。
* ディスクの演奏より少し前から録音が始まります。

5 録音を一時停止し、希望する曲から録音を再開したい場合は、手順 3~4 を繰り返してください。

シンクロ録音機能を解除するには
□ を押します。

メモ

- 録音を終了、または停止させるには、テープデッキ側で適切な操作をしてください。(詳しくは、お手持ちのテープデッキの取扱説明書を参照してください。)
- プログラムされた曲を録音する場合にも、シンクロ録音が使えます。(プログラムの手順は18、19ページを参照してください。)
- この機能はテーププログラム機能と合わせて使用できます。(テーププログラムの方法は20~23ページを参照してください。)

ディスクについて

本機で再生できるディスク

本機は、コンパクトディスク（オーディオCD）専用のプレーヤです。

本機で再生する場合、下記のマークが付いたディスクを必ずご使用ください。

また、本機の性能を十分生かすために、信頼できるディスクをご使用ください。



.....コンパクトディスク
（オーディオCD）
市販の音楽CDとして最もポピュラーなディスクです。



.....音楽録音用CD-RW (ReWritable) ディスク
音楽録音用CDレコーダを使用して繰り返し録音 / 再生が可能な、書き換え型録音用CDです。録音されたディスクは、CD-RW対応プレーヤでのみ再生が可能です。

注意!

- 信頼できるメーカーのディスクを必ずご使用ください。
- ディスクやケースに下記のいずれかの表示のあるディスクをご使用ください。

FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY



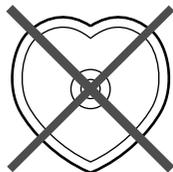
.....CD-TEXTディスク
アルバム名、曲名、アーティスト名などの文字情報が記録されたディスクです。音楽再生は通常のプレーヤでも可能ですが、文字情報はCD-TEXT対応プレーヤでのみ表示が可能です。

* **CDX-596** は、CD-TEXTディスクの文字情報の表示が可能です。

注意!

- 上記以外のディスク（変形ディスクも含まれます。）はご使用にならないでください。

上記以外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく演奏できないばかりでなく、ディスクの破損や本機の故障の原因となる場合があります。



- 一部のCD-RWディスクや正しく録音されていないディスクは、本機では再生できない場合があります。

取り扱いの注意

- 信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかな布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。ほこりや汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。



- レーベル面に紙など（レーベル面用のシールも含まれます。）を貼ったり、ボールペン等を、先の固いもので文字を書かないでください。



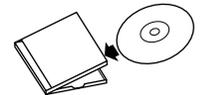
- 曲げたりしないでください。



- 信号記録面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



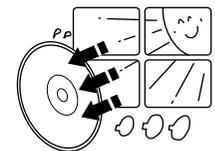
- 演奏が終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。



- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くと、ディスクが変形したりして使用できなくなる原因となりますので、絶対に置かないでください。



- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。

- できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



故障かな？と思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。その上で正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点まで、お問い合わせください。

| どんな状態ですか | ここをチェックしてください | こうすればOKです |
|----------------------------|--|--|
| 電源スイッチを押しても電源が入らない。 | 電源プラグの差し込みが不完全である。 | 電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください。 |
| ディスクトレイが完全に閉らない。 | ディスクトレイに異物が入っている。 | ディスクトレイを確認し異物を取り除いてください。 |
| ディスクを入れても演奏できない。 | ディスクが裏返しにセットされている。 | ディスクのレーベル面を上にして入れてください。 |
| | ディスクに汚れやキズがある。 | ディスクを取り替えてください。 |
| | ディスクがひどく汚れている。 | クリーニングしてください。 |
| | 正しく録音されていないCD-RWディスクを使用している。 本機が対応していない規格外のディスクを使用している。 | 正しく録音され、本機に対応した信頼できるディスクを使用してください。 |
| 演奏が遅れて始まったり、正しくない位置から始まる。 | ディスクに汚れやキズがある。 | ディスクを取り替えてください。 |
| 音が出ない。 | 出力コードの接続が不完全。 | 接続を確認してください。 |
| | アンプの操作が間違っている。 | アンプのスイッチの位置を確認してください。 |
| | - OUTPUT LEVEL + が絞られている。 | - OUTPUT LEVEL + で音量を調節してください。 |
| 音飛びをする。 | 本機が振動やショックを受けている。 | 設置場所を変えてください。 |
| | ディスクがひどく汚れている。 | クリーニングしてください。 |
| ブーンというハム音が出る。 | 出力コードのプラグの接続不良。 | 出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください。 |
| チューナにノイズが入る。 | 本機とチューナの設置場所が近い。 | チューナから遠ざけるか、または本機の電源を切ってください。 |
| ヘッドホンから音が出ない。 | - OUTPUT LEVEL + が絞られている。 | - OUTPUT LEVEL + で音量を調節してください。 |
| リモコンユニットでは操作できない。 | 乾電池が消耗している。 | 乾電池を2本とも交換してください。 |
| | リモコンユニットが受光部に向いていない。 | リモコンユニットを受光部に向けてキーを押してください。 |
| | 操作する位置が本体から遠すぎるか、または角度が正しくない。 | リモコンは本体から6m以内の距離にて、また本体正面より左右それぞれ30°以内の角度にて操作してください。 |
| | 受光部に強い日光や照明（インバータ蛍光灯など）が当たっている。 | 受光部に強い光が当たらないように本機の置き場所や方向、または照明の位置を変えてください。 |
| リモコンを操作すると、テレビが正常に動作しなくなる。 | リモコン受光部のあるテレビのそばでリモコンを使用している。 | 本機をテレビから離して設置するか、またはテレビのリモコン受光部をカバーなどで覆ってください。 |

参考仕様

■オーディオ特性

| | |
|-----------------|---------------------|
| 周波数特性 | 2Hz ~ 20kHz ± 0.5dB |
| 高調波歪率 (1 KHz) | |
| CDX-596 | 0.0025% |
| CDX-496 | 0.003% |
| S/N比 (EIAJ) | |
| CDX-596 | 115dB |
| CDX-496 | 105dB |
| ダイナミックレンジ | |
| CDX-596 | 100dB |
| CDX-496 | 95dB |
| ワウ・フラッター | 測定検知限以下 |
| 出力電圧 | 2.0 ± 0.5V |
| ヘッドホン出力 (-20dB) | 200 ± 40mV/150 |

■総合

| | |
|--------------|---|
| 電源 | AC100V 50/60Hz |
| 消費電力 | |
| CDX-596 | 10W |
| CDX-496 | 9W |
| 外形寸法 (W×H×D) | 435×96×277 mm |
| 重量 | 3.7kg |
| 付属品 | オーディオコード (1本) リモコンユニット 単3乾電池 (2本) |

本機は、電気用品取締法に定める技術水準に適合しています。

* 仕様および外観は改良のため変更をすることがあります。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスの依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

保証期間

お買上げ日より1年間です。

保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

修理料金の仕組み

| | |
|-----|--|
| 技術料 | 故障した製品を正常に修復するための料金です。 技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。 |
| 部品代 | 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。 |
| 出張料 | 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。 |

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

品番、製造番号は本機背面に表示してあります。

スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。

摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。

摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。



ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

AV国内営業部 TEL (053) 460-3451

AV・IT品質保証部 TEL (053) 460-3405

住所および電話番号は変更になることがあります。

ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問合せは

お客様ご相談センター

TEL (03) 5488-5500

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~17:00
(土・日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問合せは

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512-6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236-0249

首都圏 〒211-0025 川崎市中原区木月1184
TEL (044) 434-3100

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465-6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652-2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877-5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874-3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822-3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472-2134

愛情点検



永年ご使用のAV機器の点検を!

こんな症状はありませんか?

電源コード・プラグが異常に熱い。
コゲくさい臭いがする。
電源コードに深いキズが変形がある。
製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
電源を入れても正常に作動しない。
その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。